



日韓 フレンドシップコンサート

上越交響楽団
特別演奏会

JAPAN & KOREA FRIENDSHIP CONCERT

響き渡る友好の風、再び／浦項市と上越市の合同オーケストラによる日韓交流の集大成

日時

2004年9月5日(日) PM1:30開場 PM2:00開演

会場

上越文化会館大ホール

指揮

朴性完 ● バク・スンワン ● 浦項市立交響楽団・常任指揮者

吉井俊哉 ● よしいとしや ● 上越交響楽団・常任指揮者

オーケストラ

浦項市立交響楽団 & 上越交響楽団 合同オーケストラ

主催

日韓フレンドシップコンサート実行委員会・上越市

後援

JOIN 上越国際交流協会



■浦項市長
 チョン チャンシク
 鄭 章植 정장식

浦項市長あいさつ

長い交流と協力を重ねてきた上越交響楽団と浦項市立交響楽団が、合同演奏会「2004韓日フレンドシップコンサート」を公演することは、52万人の浦項市民にとりまして、大変喜ばしいことであります。

特に今度の合同演奏会では、上越市の委嘱作品である金澈華(キム・チョルファ)氏が作曲した「交響曲2002」が日本で初演されるので、とてもうれしく思っています。

芸術は国境と言語を超越して、ともに感動を共有できる素晴らしいものであると考えます。浦項市と上越市がこの演奏会を通じて友情を深め、互いの文化と芸術を理解し合い、21世紀のパートナーとして、ともに発展していくことを願っています。

この意義深い演奏会が開かれるまでに多くの配慮をしてくださった上越市長をはじめ上越交響楽団、浦項市立交響楽団、関係者の皆さんに本当に感謝しています。

たくさんの上越市民の参加を得て、上越市の初秋を彩る素晴らしい感動的な演奏会が盛況裡に行われることを期待するとともに、両市の変わらない友情を約束しながら、上越市の限りない発展をお祈り申し上げます。



■上越市長
 木浦 正幸

上越市長あいさつ

浦項市と上越市の友好の響きが再び奏でられる時がやってまいりました。浦項市立交響楽団の皆様をお迎えし、上越交響楽団との合同コンサートを開催できることは大変喜ばしく、市民とともに心より歓迎いたします。

2000年からスタートした日韓フレンドシップコンサートは、音楽を通じた文化交流の促進を目的に、浦項市と上越市で相互に開催してまいりました。今回日本での初演となる「交響曲2002」は、上越市が韓国の作曲家金澈華(キム・チョルファ)氏に依頼して制作したもので、日韓の交流が永遠に続くようにとの願いが込められています。今後も人々に愛され、親しまれ、演奏されることを願ってやみません。

上越市は、来年1月1日の13町村との合併を目前にしておりますが、心の豊かさの実現が求められるこの時代に、音楽を通じた文化交流が更に発展し、新市としても様々な分野で相互理解を深め、友好の輪が広がることを願っております。

浦項市立交響楽団の派遣にご理解をいただいた浦項市長をはじめ、関係者の皆様に深く感謝するとともに、浦項市のますますの発展を祈念いたします。

キム・チョルファ 「交響曲2002」

●上越市委嘱作品

「交響曲2002」は2002年、日韓ワールドカップ共同開催記念文化交流行事の一環として、日本の上越市から委嘱された作品です。2001年上越市の招請で1週間日本を訪問しながら、韓国と日本はまったく異なっているが似ている部分も多いということを感じました。日韓交流をテーマにした作品なので、日本と韓国のお互いの存在と文化的、情緒的、独創性、同質性などを大切に考えた上で、この美しい交流が永遠に続くことを願って制作しました。

第1
楽章

Remembrance & Retrospection

記憶と回顧

長い歴史の中でお互いの気質と独自性を育み、お互いに助力と支えを重ねながら共存してきた日韓の過去を回想します。神秘的な導入の後、激しく変化しながら展開します。

第2
楽章

Reflection & Refinement

反映と洗練

韓国と日本の雅楽は中国から伝来し、それぞれの気質と情緒を再構成し整えてきました。

第3
楽章

Revelation & Realization

発覚と実現

人々の姿と考え方は実に様々であり、このような違いがある世の中は素晴らしいと思います。私はすべての音楽的要素を使い、合理的で造化した方法で秩序ある音響を作ろうと努力しました。そして度々、逸脱と新しさ、そして対立と混沌を重ねながら、対比が美しい音楽を考えだしたのです。



キム チョルファ
 金 澈華 김철화

釜山大学を卒業後、アメリカのUniversity of Hartford, The Hart School大学院で音楽修士学位、University of Illinois at Urbana Champaignで音楽博士学位を修得。

中央音楽コンクールで入賞、釜山現代音楽祭の室内楽部門で優秀賞と管弦楽部門で大賞受賞、日本福井国際ハーブミュージックフェスティバルで入選、安益泰(アン・イクテ)作曲賞受賞など数々の受賞を受け、釜山文化会館が主催した「2002管弦楽作品公募」に賞選した。

最近では2002統営(トンヨン)国際音楽祭で「大編成管弦楽のための創造」、釜山市立交響楽団によって「ハーブと弦楽器オーケストラのための震怒の日」が初演された。現在、未来楽会、創楽会、国際現代音楽協会などの会員で活動している。

program & music description

■プログラム／曲目解説

グリンカ 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

グリンカの全作品のなかで、もっとも広く親しまれているのが、この序曲である。プレストのテンポで押し通すこの曲を、いかに速く演奏できるかが、オーケストラの技巧の見せどころだ、などといわれ、軽快で華麗な曲想と、よどみなく流れる旋律が特徴である。

歌劇はプーシキンが古い民話に基づいて1820年に書いた諷刺詩により、作曲者とシルコフが台本を作って1837年から42年の間に作曲された。物語は古代ロシア、キエフ公国時代に設定され、スヴェトザール公の娘リュドミラに3人の求婚者があり、ロシア人のルスランが選ばれて婚礼の祝宴になったとき、突然悪魔チェルノモールが花嫁をさらってしまう。スヴェトザールは改めて3人のうち娘を助け出した者に彼女を与えることにしたため、それから三者三様の苦心談がくりひろげられ、最後はルスランがリュドミラを救い出して再び結ばれる。

ドヴォルザーク 「交響曲第8番ト長調」作品88

チェコスロヴァキアの作曲家ドヴォルザークの残した9曲の交響曲は、ドヴォルザークの創作系列の中で重要な存在になっているばかりでなく、19世紀の国民主義的な交響曲の代表的なものに数えられていて、音楽史的にも見逃せない作品である。

ドヴォルザークの交響曲は、初期の段階ではドイツ古典派とロマン派からの影響をかなり鮮明にみせている。しかし、そこにチェコ的な、国民主義的な感情を徐々に打ち出していき、あまりにも豊かな旋律的感覚とともに独自のスタイルを構築していく。

ドヴォルザークの交響曲のなかで、第9番「新世界より」について、現在ひろく知られているのが第8番である。この曲は、出版商のジムロックとの口論ののちに、イギリスのノヴェロから出版されたため、「イギリス交響曲」とも呼ばれている。しかし、性格はイギリス的であるよりもむしろ、ドヴォルザークの交響曲のなかで、最もボヘミアの国民主義的色彩の濃厚なものである。しかも、ハイドンやベートーヴェン以来の一般人における交響曲の概念とあまりにかけはなれたもので、全体の構成はきわめて独創味にみちている。しかも、即興風なところさえある。このため、この曲を交響詩と呼ぶ人も少なくない。初演後、しばらく親しまれなかったが、以上の独創味旋律の美しさで、しだいに人気を獲得していった。

timetable

PM1:30	開場
2:00	開演 挨拶
2:15	グリンカ歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
2:25	キム・チョルファ「交響曲2002」
3:00	休憩
3:15	ドヴォルザーク「交響曲第8番ト長調」

第1楽章 Allegro con brio

アレグロ・コン・ブリオ

第2楽章 Adagio

アダージョ

第3楽章 Allegretto grazioso - Molto vivace

アレグレット・グラツィオーソ - モルト・ヴィヴァーチェ

第4楽章 Allegro ma non troppo

アレグロ・マ・ノン・トロッポ



日韓フレンドシップコンサート

일한 우정의 콘서트

指揮者・オーケストラ／プロフィール

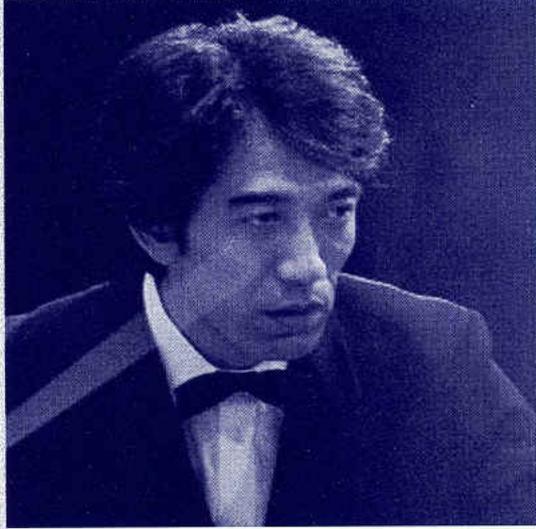
P R O F I L E



パク スンワン

朴 性完 박성완

啓明大学校音楽大学器楽科卒業、
啓明大学校大学院器楽科卒業、
Netherlands Maastricht音楽院指揮科卒業、
大邱、蔚山、馬山市立交響楽団常任指揮者歴任、
Netherlands Sittard Chamber Orchestra常任指揮者歴任、釜山、馬山市立交響楽団客員指揮、
St. Petersburg State Symphony Orchestra、
Russian Philharmonic Orchestra客員指揮。
現在、釜山大学校音楽大学教授、浦項市立交響楽団・常任指揮者



吉井 俊哉 ■よしい としや

1959年高田市（現上越市）に生まれる。城南中学に入学・吹奏楽部にてチューバを吹く。高田高等学校に進学・器楽部に入学するとともに、上越交響楽団に入団。1978年明治大学工学部建築学科入学。青山学院大学管弦楽団に団友として参加するとともに、上越交響楽団での活動を続ける。明治大学卒業後、建築技師として上越市役所に勤務。2002年上越市及び韓国浦項市で開催された日韓フレンドシップコンサートにおいて、栗山和樹作曲“ソロバーカッションとオーケストラのための「青邱の美しい庭」”の指揮を務め好評を博す。
現在、上越交響楽団・常任指揮者。

浦項市立交響楽団

P'ohang municipal symphony orchestra

浦項市立交響楽団は1977年3月17日に設立されたプロのオーケストラです。クラシックから現代音楽まで幅広く取り上げ高い評価を得ています。

■浦項市紹介

人口約52万人。市制55年を数え、上越市とは1996年4月に「国際経済・文化交流」共同宣言に調印。浦項総合製鉄所は粗鋼生産高世界第1位として有名です。

上越交響楽団

Joetsu symphony orchestra

上越交響楽団は1972年に発足。年2回の定期演奏会を行い、今年度で56回を迎えるアマチュアのオーケストラです。クラシックから現代音楽まで幅広く演奏しています。

